

(様式第 1)

疑義照会(回答)票

照 会 日 平成 22 年 4 月 9 日  
照会部署名 藤沢年金事務所適用調査課  
照会担当者 (一般職) 青木正良  
連 絡 先 XXXXXXXXXX  
メー ル ア ド レ ス XXXXXXXXXX@XXXXXXXXXX

業務実施部署の長の確認	小平
-------------	----

(案件)

(受付番号) No. 2010-502	一時帰休と保険者算定について
------------------------	----------------

※ 受付番号は、品質管理担当部署において記入します。

(内容)

＜厚生年金保険法第 23 条/昭和 50 年 3 月 29 日保険発 25 号・庁保険発第 8 号通知について＞

「4 月・5 月・6 月すべて一時帰休による休業手当が支払われた場合の定時決定は、9 月 1 日の時点で一時帰休の状況が解消している場合、従前で決定」となっているが、この従前とは前年の定時決定と解釈してよいか。 また、前年の定時決定の後、随時改定があった場合にはその随時改定を従前としてよいか。

さらにその場合、当年、9 月以降に実際支払われる報酬と著しく不当な場合、(例えば、5 等級以上違うなど) 厚生年金法第 24 条の報酬月額算定の特例として扱って差し支えないか、お尋ねいたします。

(回答)

「従前」の考え方は貴見のとおり。また、ご質問のケースは昭和 36 年 1 月 26 日保険発第 7 号通知の一 (2) に該当することから、従来の報酬月額とする取り扱いとなる。

回答日	平成 22 年 5 月 11 日
回答部署名	厚生年金保険部適用企画指導G
回答作成者	田畑 奈津子
連絡先	
メールアドレス	

主管担当部署の長の確認	山上
-------------	----

(軽微なものについてはグループ長)	
-------------------	--